

みんなの広場



祭りのフィナーレを飾る
女みこし

8.4

伊万里の夏・どっちゃん祭り

30回目の『夏・おんな・伊万里津』

市街地などで『どっちゃん祭り』がありました。暑さのため日中のステージプログラムが屋内での開催となりましたが、参加した皆さんは元気いっぱい。日が落ちた夕方からは祭りもさらに盛り上がり、市内外からの多くの人でにぎわいました。祭りの主役はなんといっても女みこし。30回目を迎えた女の祭りのフィナーレを、勇壮華麗に彩りました。



HEART BEAT JAZZ Orchestra
による30回記念の演奏



伊万里太鼓の会の演奏



どっちゃんダンス (上) と総踊り (下)

カブトガニの幼生を放流

再びこの場所に戻ってきてください

木須町の多々良海岸で、牧島小学校の児童や伊万里高校理化学部・生物部の生徒などがカブトガニの幼生を放流しました。市カブトガニを守る会と市教育委員会が毎年行っているもので、今回放流したのは約700体。十数年後、再びこの場所に戻り産卵してくれることを願って、児童らは慎重に干潟の潮だまりの中に幼生を放していました。



8.1

↑ 紙コップに入った幼生を干潮時の潮だまりに放流する児童

伊万里の“いい職”相談会

私たちと一緒に働きませんか

人手不足が深刻化する中、市内外から優秀な人材を確保しようと、農協会館で『伊万里の“いい職”相談会』がありました。これは、市内の22企業が合同で開催した求人説明会でU・Jターン希望者や市での就職を希望する約40人が参加。参加者は関心のある企業に面接申込票を提出し、各企業のブースで熱心に説明を聞いたり、質問をしたりしていました。



8.11

↑ 各企業のブースで熱心に説明を聞く参加者

伊高寺子屋

教えて。お兄さんお姉さん

伊万里高校で『伊高寺子屋』がありました。これは県が実施する『地域とつながる高校魅力づくりプロジェクト』の一環で、高校生が先生となり夏休みの課題に取り組む小学生のお手伝いをするものです。この日は、児童約50人が参加。持参した習字や算数などの課題を分かりやすく教えてもらった児童は「簡単にできた」と嬉しそうに話していました。



書道部員に書き方を教えてもらう小学生たち



↑算数の確かめ算のやりかたを教える高校生

伊万里サマーキャンプ

真夏の沖縄で貴重な体験

沖縄県で行われた伊万里サマーキャンプに、21人の小・中学生、高校生が参加しました。初日にひめゆり平和祈念資料館を見学した子どもたち。戦争と平和について考えました。次の日からは現地の子ども会との交流やキャンプ、海洋研修など、普段はできない体験がめじろ押し。輝く太陽とエメラルドグリーン^①の海を体中に浴びて、充実した6日間を過ごしました。



↑渡嘉敷島での海洋研修後に記念撮影

市消防団夏季点検

地域住民の安全・安心のために

市消防団夏季点検が伊万里消防署でありました。市内11分団から741人が集結。分団ごとに通常点検や小隊訓練を行い、日頃の訓練の成果を披露すると、統率の取れた機敏な動きに、観覧者は息をのんで見入っていました。また、昨年度から伊万里消防署に配備されている津波・大規模風水害対策車を使用した、負傷者の救助訓練もありました。



一糸乱れぬ動作が美しい大川分団の小隊訓練



↑津波・大規模風水害対策車に搭載されている水陸両用バギー

第43回全国高等学校総合文化祭 2019 さが総文 高校生による静かな熱き戦い

2019 さが総文の文芸部門が市民センターなど4か所に分かれてありました。散文、詩、俳句など5つの部門で、全国から約200人の生徒が参加。大川内山や鏡山など市内外の名所を巡る文学散歩や、佐賀をテーマに生徒が創作した作品の発表、講師から講評を聞く分科会などがあり、生徒たちは文芸を通して交流を深めていました。



↑文学散歩で作った短歌の中から選りすぐりの一首を選ぶ生徒たちの様子（7月30日）